

# 『時事直言』 No.1733 2025年3月25日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 何故トランプは暗殺されないのか

それは小冊子 Vol.148 を読めば分かる。

リンカーン、ガーフィールド、トランプが大好きで大統領執務室に肖像画を飾っているマッキンリー、ケネディはすべて暗殺され、レーガンだけは未遂で助かった。

暗殺された大統領に共通していることはドルの発行権を中央銀行(ユダヤ資本)から国家に移そうとした点である。

暗殺はすべて実行犯による単独犯で背後関係はなかったことになっている。

ケネディは暗殺された 1963 年 11 月 22 日の前の 6 月 4 日に大統領令を発行して中央銀行発行のドル紙幣の発行権を政府に移した。

又当時のケネディの大統領特別補佐官であったシュレジンジャーは、ホワイトハウス、国務省や他の機関を無視(超越)して国家の重要事項を CIA が自主決定、管理コントロールしている実情を明らかにしてケネディに CIA 解体を進言していた。

トランプは FRB(中央銀行)の廃止、政府発行のトランプダラーの構想を進める。

トランプは子飼い(忠誠)のジョン・ラトクリフを CIA 長官に任命、イーロン・マスクは反トランプの CIA 要員を残らず解雇しようとしている。

そこでケネディ暗殺の秘密情報公開で CIA に疑惑の圧力をかけている。

トランプは闇の政府(ディープステート)を壊滅する為に次々と周到な手を打って来ることになっている。

(多分私のシンクタンクから提案した私の超過酷な作戦も採用されるだろう)

ここまで暗殺の条件が揃っているのにトランプが毎日元気なのはなぜか。

実は訳あってトランプは泳がされているのである。

ケネディ暗殺秘密情報公開より面白い小冊子 Vol.148 はもうじき発行されます。

### 大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

#### いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)  
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。